



2020年、神戸YWCAは創立100周年

● ● 宣教師って？ ● ●

「はじめまして、香港から来た宣教師の林美恩です。」この7年間、数えきれないほど多くの人々にそう自己紹介してきましたが、ある方の反応は今もよく覚えています。その若い日本人の女性は、宣教師と聞いてとてもびっくりされたのです。「すみません。なにが失礼なことを言ってしまいましたか。」と私が尋ねると「いいえ、違います。女性が宣教師になれることを知らなかったのです。」と言われました。宣教師は欧米人の男性で、背が高く、鼻が高く、英語で喋るというイメージが今でも残っているのかなあ、と私は思いました。そうであれば、見た目が日本人とあまり変わらない香港人の女性が宣教師として日本に来ているということが不思議に感じられたのかもしれない。多くの人々の宣教師のイメージがどのようなものであれ、自分がどういう宣教師になりたいのかということが、日本での宣教師としての歩みにとって何よりも重要なことなのではないかと思っています。

● ● 来日の初心 ● ●

日本に来る前、日本での働き場についているいろいろ悩みました。いくつかの場所から声がかかりましたが、日本にある外国人主体の教会やアメリカの宣教団体もある中で、私は日本キリスト教団の教会を選びました。日本で生活する外国人たちが通う教会やキャンパスで活動する宣教団体は、もちろん大切な働きをしていると思います。でも、日本で宣教師として奉仕する決意を固めた時、日本人の仲間として共に歩んで行こうと思ったので、やはり日本人の信仰共同体に赴任し、日本人と関わるのが自分の献身の初心にかなったことだと考えて、日本キリスト教団の教会にしたのです。見た目ではよ

くわかりませんが、まったく違った文化の中で育ってきた私が、日本人の世界に飛び込んでいくことは、私にも周りの方々にも簡単なことではありませんでした。自分は初心をかなえた、と偉そうに言うつもりはありません。むしろ何も分からなくて、いろいろ迷惑をかけた私を受け入れてくださった方々に感謝しています。「はっきり言わない」「空気を読んで相手の気持ちを考えた上で相手と関わる」というのが日本の文化だと思います。言葉の壁を出来るだけ早く乗り越えようとしていた私が、聞き過ぎたり言い過ぎたりして、みんなに嫌な思いを与えてしまったのではないかと後から心配になりました。申し訳ない思いを抱きつつ、少しずつ日本のみなさんの気持ちに寄り添い、できるだけ合わせようと努力しています。

● ● 日本と香港との架け橋 ● ●

7年間、日本人と共に歩んできて、少しずつ日本の文化や日本人（特に関西人）のやり方に馴染んできたように思います。では、宣教師としての仕事は順調になってきたと言えるのでしょうか。いいえ、そうも言い切れません。宣教師の働きのために日本の文化に馴染んで派遣先の人々と仲良くすることはもちろん大切ですが、一方で、派遣先と上手くコミュニケーションをとりながら、派遣元と派遣先との架け橋となることが、宣教師に求められる大きな働きです。

日本のキリスト教や宣教活動に興味を持つ香港人は少なくありません。その人々を日本の教会やキリスト教のNGOなどとつなげていくことが、両方の文化を知る宣教師のなすべき働きだと私は思っています。私は来年2月に帰国することになりますが、香港でこの架け橋の働きを継続していきたいと願っています。

【プロフィール】

香港出身。香港メソジスト教会にて幼児洗礼を受ける。2002年香港理工大学・作業療法士卒業、社会福祉施設勤務。2006年～2010年香港中文大学崇基学院神学院に進学、神道学修士課程卒業。2010年～2013年マカオメソジスト教会伝道師就任。2013年～2016年香港メソジスト教会と合同メソジスト教会宣教師として、日本基督教団岡本教会派遣。2017年～2019年日本基督教団神戸聖愛教会に派遣され、宣教師として活動中。

林 美恩

香港人の宣教師@関西

神戸YWCA Welcome LOVE and PEACE バザー 2019 おいしい楽しいバザー!



11月4日(月・祝)、5階を食堂にして、「食」をメインとしたバザーを行った。恒例の「地域とつながる券」から繋がった「SALA」「王子家」、新たに「PARI」が新店してくださった。

今回初めて開催したコンペのねらいは、YWCAの活動、また、チャリティードリップコーヒーの収益が諸活動のために使われることを広く知ってもらうことであった。来場者による投票の結果、分室連合の「分室号のタイヤを新しくしたい!」が助成金3万円を勝ち取った。当日の売上は約50万円。390人が来場、大盛況だった。



秋晴れの下、今年のバザーの新たな試みは参加型コンペ!

さまざまなグループの切実な悩みや夢を発表することで皆さんに活動を知っていただき、賛同して投票して下さった方にはドリップコーヒー割引券を進呈、コーヒーを飲んでいただくことがチャリティ活動になりました還元される...といった循環を表した企画でした。

食べ物も出品物も展示に困るほどたくさんご提供いただき、素晴らしい売上に繋がりました。

大役を任せられた不安もありましたが、準備をして下さった皆さん、当日ボランティアの皆さんの明るい笑顔で当日の空のように晴れやかな気持ちで終えることができました。ありがとうございました。

(バザー委員長・木村 文子)

☆ご協力に感謝いたします☆

協賛企業の皆さま

味の素(株)/伊那食品工業(株)/ (株)上野商店/エキストラ珈琲(株)/江崎グリコ(株)/エム・シーシー食品(株)/ (株)神戸風月堂/生活協同組合コープこうべ/ネスレ日本(株)/林商店/(株)ヨコタ東北/六甲バター(株)

「地域とつながる券」協賛店の皆さま

イズベーカーリー/宇治茶園/CAFE+/サロン・ド・ゆめさき/四宮軒/Store UNBIRTHDAY/元町映画館

出店者の皆さま

飛鳥工房/インド・ネパール料理 PARI/神戸アジア食堂バル SALA/神戸カメックス/工房「夢色遊び糸遊び」/台湾家庭料理・王子家/布のおもちゃ作りボランティアほたる/はるい都市養蜂研究所/プチパンソー/古着屋トッピ/宝光堂/ほっとすてーしょん/ミトチャ/ワンビレッジ・ワンアース

☘ カフェもぐもぐ 若年性認知症フォーラム

夏の暑さも一息ついた10月5日(土)の夕方、カフェもぐもぐとまごの手主催のチャリティーライブ「生きる」を開催した。おーまきちまきさんのアコーディオン弾き語りと小山聡さんのギター弾き語りは聴く人の心に響き、「生きる」を感じるひとときとなった。参加者51人。

(寺内 真子)



たちが権力構造を変革する」。

大阪 YMCA 主事の鍛治田千文さんがご自分の経験を通して、ジェンダー平等について話して下さった。礼拝後、神戸YWCA 運営委員の福田百さんが、11月17日から行われる世界YWCA 総会についてアピールした。(キリスト教基盤部・野村春美)



み取り、野菜スタンプ押しなどをして、あつという間の2時間でした。押した野菜スタンプは、バザーの看板に飾りました。(木村 文子)



☘ 世界YMCA / YWCA 合同祈禱週

今年も神戸YMCA / YWCA 合同礼拝が11月12日(火)神戸YWCA チャペルで開かれた。今年のテーマは「ジェンダー平等にむけて、若い女性

☘ ちゃいやあらんどの ハロウィン

今年はたくさんのプリンセスと魔女たちで華やかかつ賑やかなちゃいやあらんどのハロウィン一行。

いたずらせずにお菓子をもらえたら、早速お菓子を広げてお茶会。その後、ボランティアの青柳さんのおもちゃで遊び、ポップコーンつのか

はっぴー あるばむ



外国にルーツをもつ子どもたちの日本語プログラムから

筆ペンでオリジナルのクリスマスカードや年賀状を作りました。

聖書を読む会



19世紀半ばロンドンに始まったキリスト教の婦人達の集まりがYWCAとなり、日本にも伝えられ神戸でも100年をむかえた。キリスト教を基盤として女性の人権、自由、平和の問題などを担ってきた。

「聖書を読む会」はこの基盤を大切にしようと、毎月1回(8月を除く)第1木曜日の午後、宇都宮佳果先生(元東部教会牧師)にご指導いただき聖書を読んでいる。今年度は「ルカによる福音書」を読みついでいる。教会の説教とは違った切り口で解説を伺い、自由なトークを楽しんでいる。ティータイムも大切な交わりの時である。聖書の言葉を道しるべとして、隣人に無関心になるという現代の中で新しい生き方を探っていければと願っている。

興味のある方はどうぞご参加ください。(中尾 廣美)

LA II タスクチーム② 1 Day ミーティング in 名古屋

11月10日(日)、名古屋YWCAで、LA II期のタスクチーム②「若い女性のエンパワーメント事業(セーフスペース事業、居場所事業、リーダーシップ養成事業)を考える」の1 Day ミーティングが開かれた。

「若い女性にとってのセーフスペースとは何か」、「ユースとシニアの協働の課題は何か」、「なぜユースのエンパワーメントをするのか」、「今後

あの不思議な光景を見届けよう

プロジェクトY(以下、PY。現在は、まごの手、分室新事業・新拠点、会員活動=運営委員会の4チーム)が「事業と財政の再評価と新しい仕組みづくり」を目標にスタートして約2年。ここで、これまでの経緯をまとめてみたい。

1年目には、縦割り傾向にあった各事業や活動を「つなぐ」というキーワードが出てきた。他市Yや他団体の組織についても学び、人の動きをマネジメントすることで異なる事業が繋がっていきけることも学んだ。その中で、PYまごの手から「総合サポート

センター構想」が浮上した。制度だけでは支えられない「こと・もの」を、専門職と会員がより強力にタッグを組むことで、充実したサービス提供を目指すというものだ。2年目の今年、各事業が願う「誰もが安心して暮らせる社会」を築くために、高齢者や障害者、在住外国人、母子等の生活を支える「居住支援事業」が新しく動き出した。

各PYの熱い議論が、やっとなつのライン上に揃ったように思う。来年は100周年イヤー、具現化の年。もう一踏ん張りである。(総幹事・西本 玲子)

2019年度神戸YWCA定期会員集会 2020年3月14日(土)

のロードマップ作り」をテーマに、活発なワークショップが行われた。神戸YWCAからは、7人(内ユース2人)が参加。ユースとともに、これからのYWCAについて考える有意義な時となった。

(運営委員・野村 春美)



◆ 会員の皆さま ◆ 次期運営委員・指名委員 候補者推薦のお願い

成人会員(18歳以上)の中から、次年度の運営委員・指名委員候補者の推薦をお願いいたします。運営委員の任期は1期2年で連続3期まで再選可能です。指名委員は任期が1期1年で、成人会員から3人、運営委員から2人が選出され、次年度の運営委員・指名委員候補者を選考します。推薦締切:2019年12月28日(土)
(指名委員会)

◆ 2020年度 標語聖句募集

来年度の活動の指針となる聖句を募集しています。メール・FAX・郵送などでお届けください。

締切:2020年1月7日(火)

(運営委員会)



神戸YWCA
とは、阪神淡路
大震災を機に出会

い、ヘルパー養成講座の講師を引き受け、介護保険制度導入後は分室のわいわいデイルームで介護予防の運動プログラムを担当した。

会員になってからは、キリスト教基盤部を始めに、地域福祉部、平和活動部、被災者支援プロジェクトなどの活動で、幼児から高齢者までの異年齢の女性たちと、「今ある命を守り生かす」楽しい交流活動をさせていただいた。

アツという間に二〇数年が過ぎ、後期高齢の年になり、母から婆の立場で次世代へ活動を手渡し、身体に負担の多いヘビー級活動から心のサポートというライト級活動へ重きを置き、ポジティブな言葉配りに励む。

世界情勢や自然環境が、聖書に記された「終末」の時を呈する今、神戸YWCAの一世紀にわたる活動の歴史と、私自身の終活を重ね合わせる。そして、未来に起こるであろう想定外のことを「恐れるな」と言われる聖書の御言葉を盾に、何事にもチャレンジしていきたいと願っている。
(谷合 公江)

●Peace Bridge (ピースブリッジ) その他

「イギリスのEU離脱問題とアイルランド」
12月14日(土) 14～16時
場所 喫茶「エスポワール」(阪急六甲駅南側、078-882-0351)
講師 風呂本武敏さん(元神戸大学教授)
参加費 1,000円

●神戸・越年越冬活動(12/28～1/5) 分室 その他
ボランティア募集!(夜回り準備会)

12月28日(土) 11～13時(材料の野菜準備)
12月29日(日) 10～15時(調理、炊き出し)
場所 神戸市東遊園地(中央区加納町6丁目)
震災のあった1995年12月から翌年1月にかけて市役所が閉庁する期間、東遊園地に宿泊用のテントを張り「冬の家」として、野宿を余儀なくされている人たちと共に行政へ施策の充実を求めたのが始まりです。神戸YWCA夜回り準備会は、毎年チキンカレーの炊き出しを担当しています。

●わいわいランチドライバー急募! 分室

毎週月・金曜日、11時～12時30分
約25食のお弁当を利用者さんのお宅に車で届けます。ボランティア保険加入あり。
詳しくはHPをご覧ください。
→ <https://bit.ly/2kVFvZS>

第1回
神戸YWCA100年 思いをつなぐ会

シニア会員の方々に体験を語って頂く会を開催いたします。第1回は渡邊順子さんと片山恵さんです。ぜひご参加ください。

日時：2020年1月18日(土)
14:00～15:30

場所：神戸YWCA会館5階
お話し：わたしとYWCA 参加費：300円
(台風で順延となったプログラムです)

冬季
休館

本館 2019年12月25日(水)、29日(日)～2020年1月5日(日)まで(まごの手・保育園を除く)
分室 2019年12月20日(金)～2020年1月5日(日)まで

■学院だより

第1月曜日19時から1時間の「発声&歌唱教室」。全身を緩める準備体操からスタート。岩崎先生の「目をひらいて」「うどんをすすするようなイメージ」などのアドバイスで、明るい歌声になったり高い音が出たり。ハーモニーやイタリア語にもチャレンジ。受講生の希望曲をみんなで歌います。12月7日の神戸YWCAクリスマスで念願の初舞台です!
わいわいと歌うことでリフレッシュするひとときです。一緒に楽しく歌いませんか。
(原田 雅子)

■保育園だより

今は4月より一つ大きくなって保育園の子どもはほとんど1・2・3歳になっています。とはいえ、まだまだ生まれて1～3年。それでも、2歳児は小さい人を赤ちゃんだと思いい、お世話しようと意欲満々。また、小さい人たちは2歳児を真似て、同じようにやろう

と一生懸命。微笑ましくもありますが、お互いの意志を出しすぎて、さぞかし迷惑であるという場面もあります。
楽しいことも嫌なこともたくさん経験して大きくなってほしいと願っています。保育園の子どもたち全員がきょうだいです。(園長・梅川 玲子)

■運営委員会報告

(10月)
【報告】理事会▶日本YWCA関連(ビジョン・ミッション・バリュー、CSW派遣、世界YWCA派遣、LA2「会員スキルアップ～四市Y～」関連)▶各部・催事報告。
【議事】秋バザー運営委員参加▶次期総会期日本YWCA運営委員候補者選定▶神戸YWCA新組織と100周年以降ビジョン。
(11月)
【報告】理事会▶日本YWCA関連(CSW派遣者、世界YWCA派遣、LA2「会員スキルアップ～四市Y～」関連日程)▶各部報告(バザー、思いをつなぐ会、合同祈禱週、

トライやるウィーク)。
【議事】「神戸YWCAの未来を考えよう」の会のすすめ方▶2020年度神戸YWCAビジョンと目標検討▶日本YWCAビジョン・ミッション・バリューの対応▶各部・グループのSNS開設▶12月運営委員会の内容▶後援・賛同。
(書記・岩切 幸子)

■理事会報告

10月26日(土)第3回理事会開催。出席理事7人、出席監事2人。ビジョンミーティ

冬季
クリスマス
募金

にご協力ください

「冬季クリスマス募金」は全て神戸YWCAの社会貢献活動のために用います。

神戸YWCAへのご寄付は税額控除の対象になります(個人)。詳しくは事務局へお問い合わせください。

郵便振替
01100-0-10298
公益財団法人神戸YWCA

*通信欄に「冬季クリスマス募金」とご記入ください。

クレジット
カードで
かんたん決済!→



ングおよびプロジェクトYの報告の後、冬季クリスマス募金実施の件、職員年末賞与の件、人事の件を協議、承認した。(総幹事・西本 玲子)

■賛助員

小西 達也 島本 健二(敬称略)

■編集後記

全国のYWCAへ贈るクリスマスカードをみんなで作る。やっぱり手作りはあたたかくっていいなあ。(S・I)

神戸YWCA
みんなで祝う
クリスマス

日時 12月7日(土)
13時30分～15時30分

会場 神戸YWCA会館5階

参加費 500円

◆クリスマス礼拝
林美恩宣教師
(日本基督教団神戸聖愛教会)

◆ピアノ演奏 ◆ティートイム
◆クリスマススマーケット

第61回神戸市民クリスマス
『うたう、クリスマス』

日時 12月13日(金) 17時30分～19時

会場 日本キリスト教団神戸教会
入場無料

ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、担い手となって働きませんか。

◆ホームヘルパー

常勤 月給198,100円～
パート 時給1,100～1,200円
登録型 時給1,000～1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

◆生活支援訪問
サービス従業者 900円/回

神戸YWCA
まごの手

☎078-231-3156



シャマイム

担当者 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)



0120-41-1059 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

西宮市段上町2丁目13-2

URL: <http://sanosousai.com>